



JTSU 議員懇談会

「第五福竜丸展示館研修会」開催



9月17日、JTSU 議員懇談会「都立第五福竜丸展示館研修会」を開催し、労連や議員懇・小椋修平議員（足立区議会議員）をはじめ14名が参加しました。

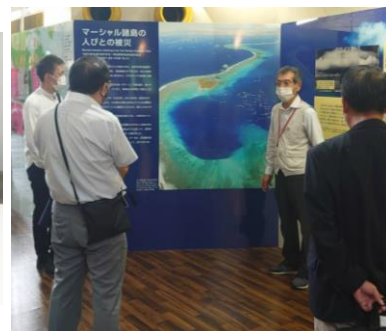
第五福竜丸は、アメリカがマーシャル諸島のビキニ環礁でおこなった水爆実験に遭遇し、「死の灰」による被害を受けた木造のマグロ漁船です。この水爆は、広島の1000倍の威力で海と環境を汚染し、第五福竜丸が獲って

きたマグロは汚染され捨てられたこと、周辺海域での漁では沢山の汚染魚が出たこと、ロンゲラップの人々は放射能の影響で住む場所を失ったことなどをガイドの方から説明を受け、改めて核・放射能の恐ろしさを学び、世界で唯一の「被爆国」で福島第一原発事故を経験している日本が核・放射能の脅威を風化させてはならないことの認識一致を参加者で図ることができました。

そしてガイドからの説明では、年々来館者が減り、特に子供の来館者が少なくなっているという話がありました。

意見交換では子供たちの教育について議論になり、「歴史の真実をしっかりと伝え、風化させてはならない」などの意見が出ました。

今回は JTSU として初めて開催した平和研修でしたが、議員懇談会の参加者と共に学び議論したことを、職場や地域の活動で活かしていくことの重要性を実感できる研修となりました。



労連は、議員懇談会の皆さんと共に連帯して運動を創り出していきます！